

## 【陶歴】

- 1936年 滋賀県信楽町に生まれる
- 1960年 市立京都工芸指導所陶磁器技術指導養成所に入所、清水九兵衛、松風栄一、内田邦夫各氏の指導を受ける
- 1962年 滋賀県美術展で知事賞受賞、12月全国勤労者美術展で労働大臣賞を受賞
- 1965年 第3回朝日展で優秀賞を受賞する
- 1969年 第16回日本伝統工芸展に入選、以降入選を重ねる
- 1973年 信楽町内裏野に居を移し、登窯、穴窯等を築く  
第20回日本伝統工芸展に入選、重要無形文化財保持者(人間国宝)清水卯一氏の指導を受け始める
- 1976年 第5回日本工芸会近畿展で優秀賞を受賞する
- 1980年 文化庁芸術家在外研修員として渡米、一年間現在アメリカ陶芸を見聞する  
アメリカテネシー州名誉州民、テネシー州ノックスビル市名誉市民となる  
ロックフェラー財団の奨学金を受ける
- 1984年 アメリカテネシー州アローモント美術工芸学校の招待指導作家として陶芸指導及び制作する。渡米中、ワシントンDC日本大使館カルチャーセンター、ウエスト・ジョージア大学、ピッツバーグ大学、ロスアンゼルスパサデナ大学等で陶芸指導、講演を行う
- 1985年 第14回日本工芸会近畿支部展監査委員。以降監査委員を重ねる
- 1987年 アメリカジョージア州ウエストジョージアカレッジの招待作家として陶芸指導
- 1989年 信楽世界陶芸祭実行委員会専門委員に任命される
- 1990年3月 ニューヨーク・フランクリンパラッシュギャラリーにて個展  
11月信楽町信楽焼無形文化財保持者の指定を受ける
- 1992年7月 アメリカニューヨーク州立大学の招待作家として陶芸指導及び制作  
10月アメリカワシントンDC日本大使館広報文化センターギャラリーにて作品展開催
- 1993年 作陶40年記念展を京都、岡山、奈良で開催する  
5月日本陶芸展 推選出品、以後出品を重ねる  
滋賀県工芸美術協会会長に就任する
- 1994年 作陶40年記念大壺展を大阪高島屋で開催する  
アメリカニューヨーク州立ニューパルツ大学にて陶芸指導  
アメリカ楽焼制作、11月アメリカ楽焼展を名古屋、東京で開催する
- 1995年11月 秀明文化賞受賞
- 1997年10月 アメリカ カリフォルニア ナババレーにて陶芸指導
- 1999年 アメリカ メイン州ヘイスタック美術校で陶芸指導
- 2001年 大阪高島屋で個展開催
- 2002年 名古屋、東京高島屋で個展開催、6月韓国聞慶にて作陶、8月韓国世界陶芸博に出品、11月滋賀県文化賞受賞
- 2003年 アメリカオレゴン州ポートランド美術館にて講演  
オレゴン美術工芸学校にて作陶指導
- 2004年 信楽(窯変・火色)展を高島屋大阪、名古屋、岡山、東京にて開催する
- 2005年7月 アメリカニュージャージー州ピーターズバレーで陶芸指導及び制作する  
9月アメリカアイオワ州シダーラピッツ市での国際薪窯陶芸家会議及びシンポジウムのパネラーに招待され参加する
- 2006年～2007年 アメリカボストン美術館で開催の現在日本陶芸展に出品、同年ニューヨーク展に出品する

【個展】高島屋(東京・大阪・京都・岡山・岐阜)、西武(池袋・有楽町)、名鉄・大阪三越、南青山グリーンギャラリー、奈良近鉄など日本各地で50数回開催